

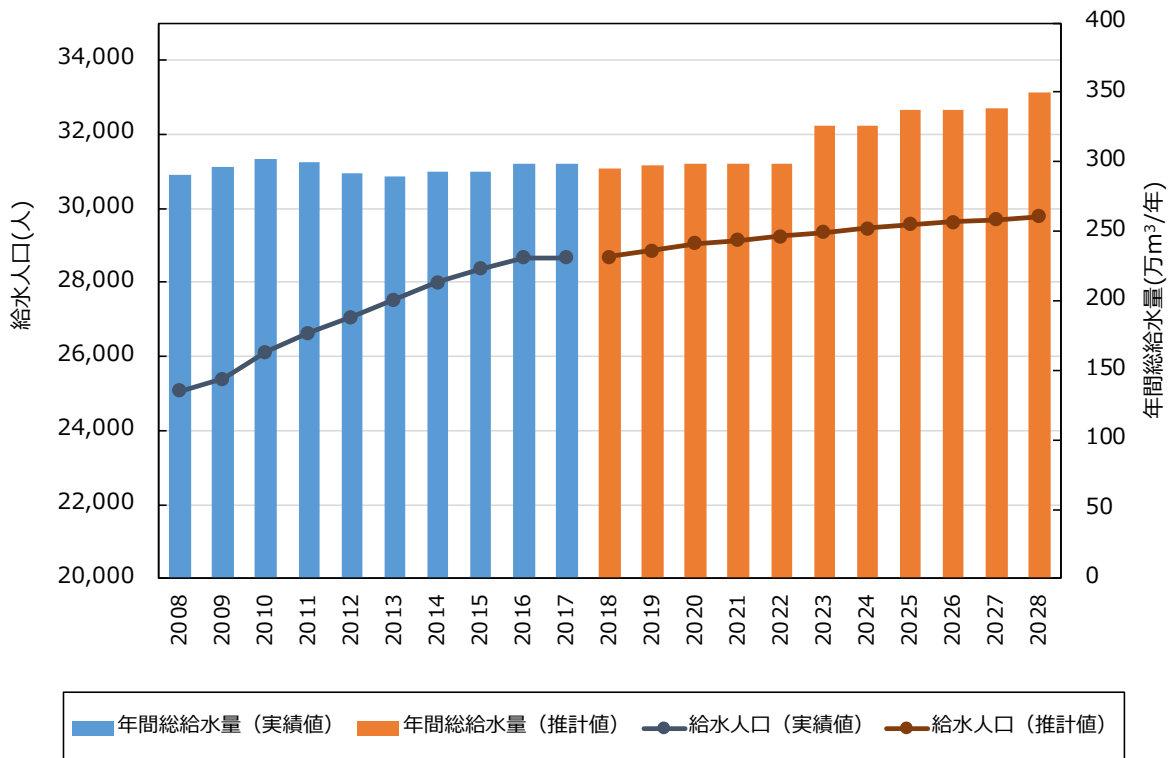
第4章 将来の事業環境

1. 水需要の動向

本町の人口は、住宅開発の発展により、これまで継続的に増加しており、2016年（平成28年）3月に策定した『阿久比町人口ビジョン』においても、2030年頃まで、緩やかな増加傾向が予測されています。その後、少子高齢化の進行等により減少傾向に転じることが予測されています。

将来の給水人口は、『阿久比町人口ビジョン』の予測と同様の傾向を示し10年後の2028年度末（令和10年度末）には、約29,770人にまで増加する見込みです。

また、給水量については、お客さまの節水意識の向上や住宅の新築、設備の改築に伴う節水型機器の普及により、生活水量はほぼ横ばい傾向の見込みですが、2023年度（令和5年度）から町内で計画される事業開発等により、大幅な給水量の増加が見込まれます。その予測の結果から、2017年度（平成29年度）の約299万m³から2028年度末（令和10年度末）の約350万m³となる見込みです。



給水人口・給水量の将来見通し

2. 更新需要の増加と資金の確保

本町は、3カ所の供給点と配水場のほか、約195kmに及ぶ管路を保有しています。

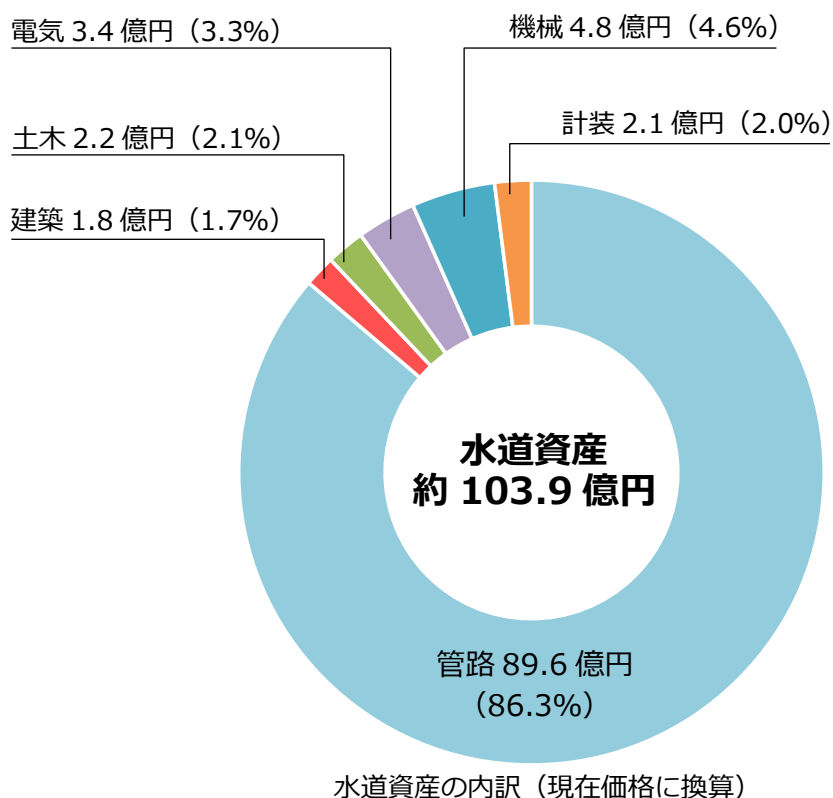
水道資産の合計は約103.9億円に相当し、資産全体のうち管路が全体の86.3%を占めており、ついで機械が4.6%となっています。

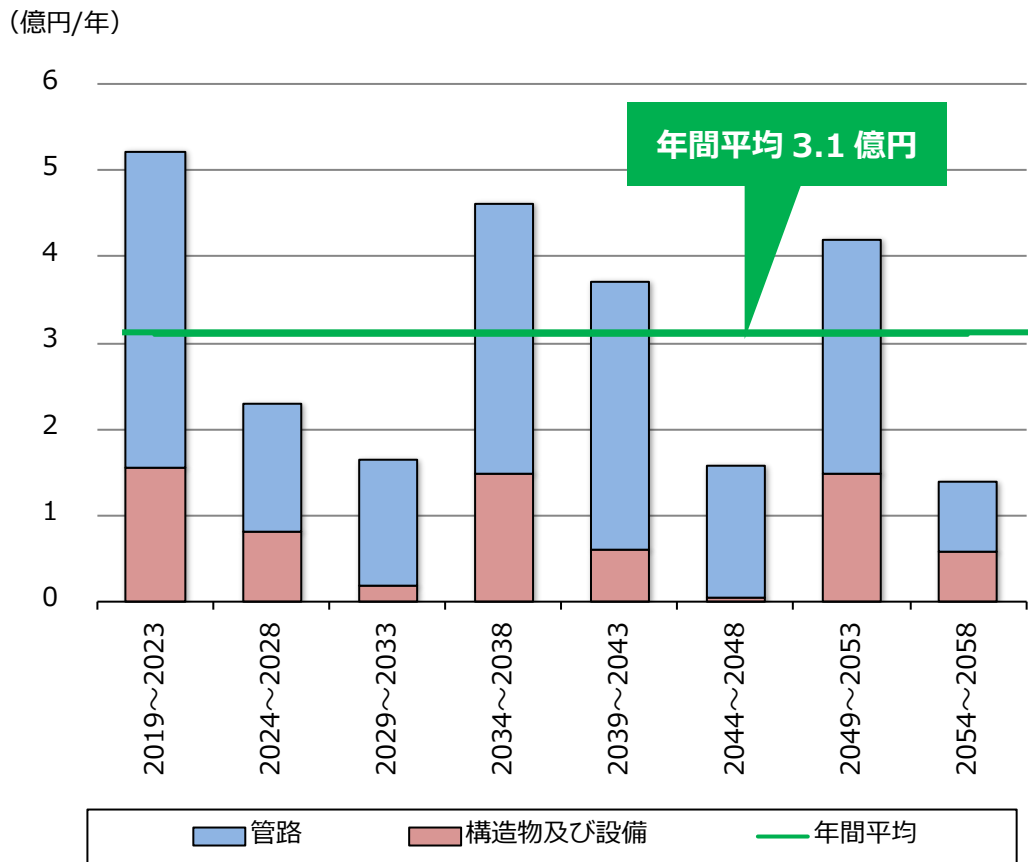
これらの現有資産を法定耐用年数で更新する場合、2019年度(令和元年度)から2058年度(令和40年度)までの40年間の年間平均で約3.1億円の費用が必要となります。これは、2016年度(平成28年度)の建設改良工事費0.9億円の約3.4倍の費用に相当します。

一方、水道料金収入については使用水量の減少に伴い減少することが予想されるため、更新事業に必要な資金を十分に確保できないおそれがあります。

このような状況の中、更新事業を着実に進めるためには、水道事業経営に係る経費を抑制し、経営の効率化を図ることが重要です。さらに、適正な維持管理による水道施設の長寿命化や重要度の高い施設から優先的に更新事業を実施することにより、更新費用の抑制及び平準化を図る必要があります。

そのためには、アセットマネジメント手法を用いた中長期的な更新需要と財政収支見通しを検討し、財源の裏付けのある計画的な投資を行っていく必要があります。



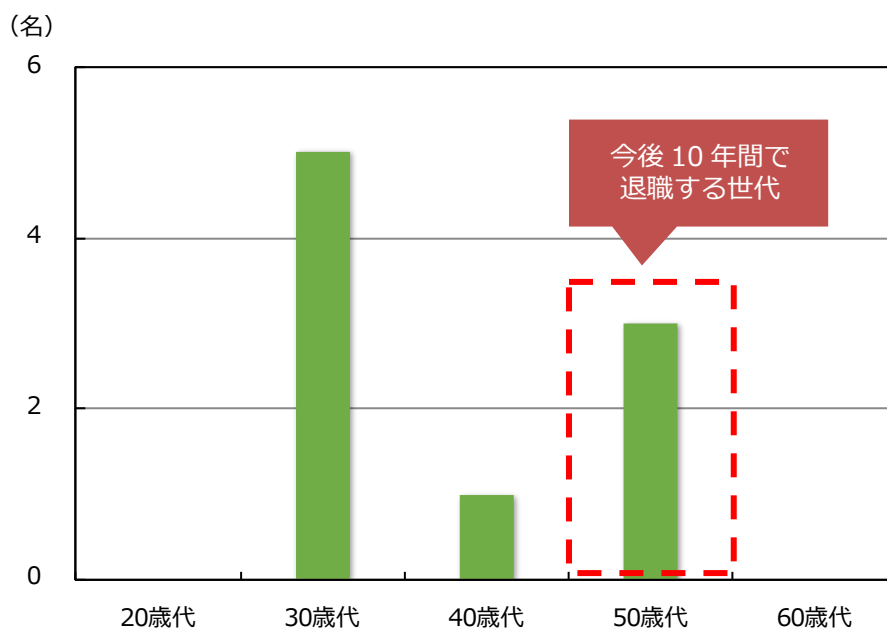


法定耐用年数で更新した場合の水道施設の更新費用

3. 人材の育成と技術の継承

本町の水道事業では、平成30年度末時点で9名の職員数で運営しており、その年齢構成は、50歳以上の職員の割合が、全体の約30%であるため、今後10年間の退職による職員減少や熟練職員の退職に直面することになります。

このような状況の中、今後とも水道事業を維持・継続していくためには、熟練職員がこれまで培ってきた技術やノウハウを次世代の職員に確実に継承できるよう、職員の適切な配置や年齢構成の適正化を図るとともに、若手職員の育成を計画的に行っていく必要があります。



上下水道課（上水道）職員の年齢構成（平成30年度末時点）

4. 今後対処すべき課題の整理

第3章「水道事業の現況と課題」および本章「将来の事業環境」から水道事業が今後対処すべき課題を抽出し、厚生労働省が公表している新水道ビジョンの「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から整理します。

●：現況分析からの課題（第3章より） ■：将来の事業環境からの課題（本章より）

課 題		
水質管理に関する課題		
安 全	水質監視体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 水質管理体制の強化 ● 水質検査結果の情報提供の継続 ● 水安全計画が未策定
	貯水槽水道管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 貯水槽水道設置者への適切な指導と情報提供
水道施設に関する課題		
強 靱	管路情報の適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 管路の適切な維持管理（漏水調査等）の継続
	水道管及び施設の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画的な水道施設の更新工事の実施
	危機管理体制に関する課題	
	応急給水と危機管理訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 応急給水施設の適切な維持管理と定期的な訓練の実施
	危機管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 危機管理体制の確立
お客さまサービスに関する課題		
持 続	窓口サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまの更なる利便性の向上
	わかりやすい情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 効果的な広報活動
	お客さまへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまニーズの把握
水道事業経営に関する課題		
	経営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■ より一層の経営の効率化 ■ 中長期的な更新需要と財政収支見通しに基づいた計画的な投資
	人材育成と技術継承	<ul style="list-style-type: none"> ■ 熟練職員の技術を若手職員へ継承するための組織的な取り組み
環境に関する課題		
	省エネ化及びCO ₂ 削減	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー消費の少ない施設づくり